

埼玉学園大学客員教授 本沢実

日本は技術立国としての衰えが叫ばれ、イノベーション（技術革新）の力も他の先進国よりも見劣りしている。起業水準は低く、グローバルに急成長するベンチャーが極めて少ない。この問題の背景には、起業段階でグローバル市場を志向するマインドが乏しい。つまり、グローバルな事業支援の枠組みやリスクマネー供給の環境が脆弱である点が指摘されている。

日本の金融機関はマイナス金利というかつてない厳しい環境でも、預金を貸し出しに回す従来型の古いビジネスモデルに縛られているように見える。とりわけ地域金融機関は少子高齢化による地域の衰退とマイナス金利という二重苦の中で、将来展望を描けないところが多い。

起業家支援のグローバル基盤を

こつした中で注目されるのが、先ごろ日本に進出した世界最大のエンジェル（個人投資家）ネットワーク、KEIRETSU FORUM（ケイレツフォーラム）である。3000人以上のエンジェルが集う会員型プラットフォームで、2000年に米シリコンバレーで生まれた。世界52拠点を展開している。

事業に成功した各国のエンジェルはケイレツを通じてグローバルに結びつき、知識や情報を共有しながら共同で起業家に資金を支援する。事業支援やアドバイスのことも行うことで、投資先企業のグローバルな成長に直接貢献する。

このネットワークは中央主催型ではなく、地域特性を生かして各拠点が独自の運営を行っているのが特徴だ。日本では、起業家と投資家を中心とした二元的なエコシステム（生態系）ではなく、金融機関との連携も生かした仕組みを目指しているという。

日本の地域金融機関にはもともと地域における信用力、情報力、ネットワーク力が備わっている。これらを基盤としたコンサルティング能力に磨きをかけながら、このようなグローバルネットワークを活用してリスクマネーを取り込めば、世界を目指す起業家を育てつつ、地域活性化のために貢献していくことができると思う。

こつした日本ならではのプラットフォームの構築こそが、超緩和的な金融政策のもとでの力ネ余りで浮かれた市場が終焉（しゅうえん）した後でも、事業支援型の金融システムが生き残る原動力となるであろう。日本が再び勢いを取り戻すために、今こそ得意分野の技術力と豊富な資金力を生かす仕組みづくりを急ぐべきだ。

当欄は投稿や寄稿を通じて読者の参考になる意見を紹介します。〒100-8066東京都千代田区大手町1-3-7日本経済新聞社東京本社「私見卓見」係またはkaisetsu@nex.nikkei.comまで。原則1000字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。添付ファイルはご遠慮下さい。趣旨は変えずに手を加えることがあります。電子版にも掲載します。